

赤潮プランクトン情報（第 16 報）

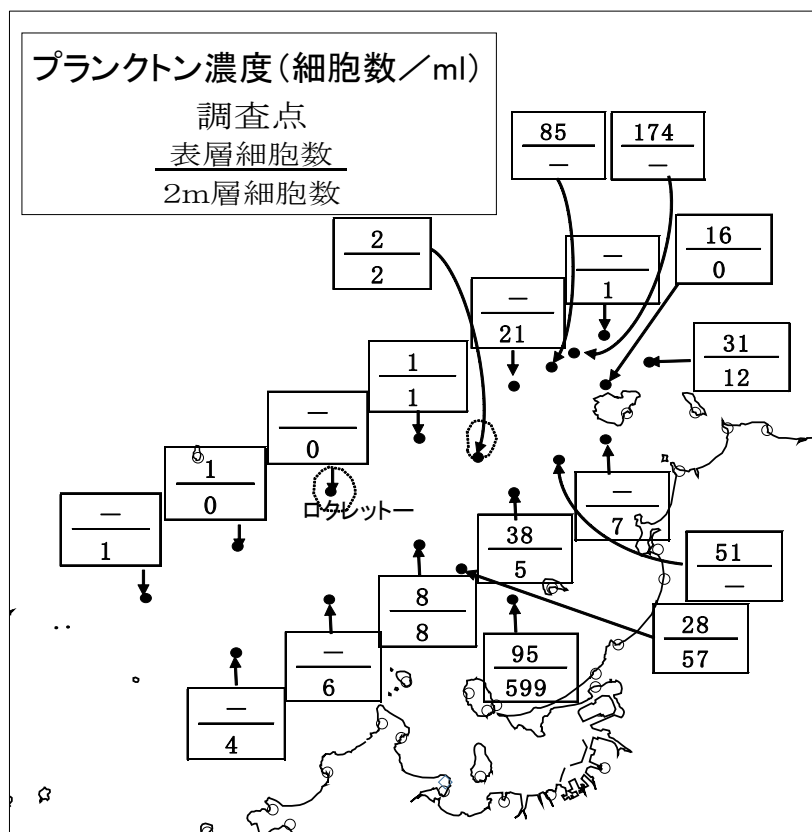
福岡県水産海洋技術センター

平成 27 年 7 月 23 日

平成 27 年 7 月 23 日に糸島から宗像地域の海水を調査したところ、魚介類に有害なプランクトン（カレニア ミキモトイ）が沖合域でも発生しています。一部の漁場では操業中にイケマの魚類が斃死するとの報告もあります。

カレニア ミキモトイは表層で着色が見られなくても中・底層でも高密度に増殖する可能性があります。現在、県内の全ての漁場や漁港内でカレニア ミキモトイが急激に増殖しかねない状況にあります。魚類や貝類は蓄養せずに出荷するなど十分に注意して下さい。

*カレニア・ミキモトイは魚介類に有害で、500細胞/mlを越えると魚介類がへい死することがあります。特にアワビ、サザエは数10細胞/mlでもへい死することもありますので注意が必要です。



漁場でアワビが弱ったり、海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。また別途、被害状況を集約中です。各組合で取りまとめの上、お手数ですが至急、報告してください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター

研究部 資源環境課 秋本・恵崎・杉野・里道・片山

092-806-0884